

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者の氏名	

審査員氏名	
-------	--

印の欄は設計者が記入のこと

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
		項目	設計内容	記載図書	
1 構造躯体等の劣化の対策	外壁の軸組等	外壁の構造等 (地面から1m)	<ul style="list-style-type: none"> 外壁の構造 (通気構造等 その他) 柱 [製材 (樹種) 集成材等 (種類)] 小径 (cm) 薬剤処理 有 (方法) 無 ()] 柱以外の軸材 [製材 (樹種) 集成材等 ()] 薬剤処理 有 (方法) 無 ()] 構造用合板等の種類 () 薬剤処理 有 (方法) 無 ()] 	仕上表 伏図	適 不適
	土台	防 腐 ・ 防 蟻 処 理	<ul style="list-style-type: none"> 土台に接する外壁下端の水切り (有 無) 土台の樹種 () 薬剤処理 [有 (方法) 無 ()] その他同等の措置 () 	仕上表 伏図 矩計図	適 不適
	浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	<ul style="list-style-type: none"> 浴室 (浴室ユニット 防水上有効な仕上 その他の防水措置 防腐措置) (方法) 脱衣室 (防水上有効な仕上げ その他の防水措置 防腐措置) (方法) 	仕上表	適 不適
	床下防湿・換気措置	換 気 措 置 (基礎断熱工法以外)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎部の開口 (外周部の設置間隔 m) (開口高さ mm、幅 mm) ねこ土台 (有効面積 cm² / m) (高さ cm) 	計算書 仕上表 基礎 伏図 矩計図	適 不適
		防 湿 方 式 (基礎断熱工法以外)	<ul style="list-style-type: none"> 防湿方法 [コンクリート (厚さ mm) 防湿フィルム (厚さ mm) その他 ()] 防湿フィルムの場合の材料 () 認定番号 () 		
		防 湿 方 式 (基礎断熱工法)	<ul style="list-style-type: none"> 防湿方法 [コンクリート (厚さ mm) 防湿フィルム (厚さ mm) その他 ()] 防湿フィルムの場合の材料 () 認定番号 () 断熱材種類 () 厚さ (mm) 熱抵抗 (m² · k / V) 		
	小屋裏換気	小屋裏換気	<ul style="list-style-type: none"> 換気口の位置 (給気口 :) (排気口 :) 換気口の面積の天井面積に対する割合 () 	仕上表 矩計図 立面図 平面図	適 不適
	点検空間の確保	床下措置 床下空間 小屋裏措置	<ul style="list-style-type: none"> 床下空間への措置 点検口 (有 無) 床下有効高さ () 小屋裏空間への措置 点検口 (有 無) 	平面図 伏図 矩計図	適 不適
	型式認定番号		住宅型式性能認定書の認定番号 ()	認定書	適 不適

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
		項目	設計内容	記載図書	
1 構造躯体等の劣化の対策	点検空間の確保	床下措置	・ 床下空間への措置 点検口（ 有 無 ）	平面図 伏図 矩計図	適 不適
		床下空間 小屋裏措置 （鉄骨造）	・ 床下有効高さ（ ・ 小屋裏空間への措置 点検口（ 有 無 ） 特に考慮なし（防錆措置を採用した場合）		
	構造躯体 （鉄骨造）	鋼材の 厚さ 防錆処理の 種類	・ 一般部（ mm ） ・ 柱脚部（ mm ） ・ 一般部（ ） ・ 柱脚部（ ）	仕様書	適 不適
	型式・確認書・証明書番号		・ 住宅型式性能認定書の認定番号 （ ） ・ 住宅型式性能確認書・証明書の文書番号 （ ）	認定書 確認書 証明書	適 不適

共通事項

1 構造躯体等の劣化の対策	地盤	防蟻措置	・ 防蟻方法（ べた基礎等 土壌処理 その他（ ） ） ・ 土壌処理（ 有（方法） 無 ）	仕上表 矩計図	適 不適
	基礎高さ	基礎高さ	・ 地面から基礎上端までの高さ（ mm ）	矩計図	適 不適

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認		
		項目	設計内容	記載図書			
2 耐震性 耐震等級 (構造躯体の 倒壊等防止)	土台・柱	柱の小径	・小径 () mm)	仕上表 伏図	適 不適		
		アンカーボルト	・品質 () ・埋込み長さ () mm) ・位置・間隔 () mm、)				
	耐力壁	筋かい耐力壁	・種類 () ()	仕上表 伏図 壁量計 算書 構造計 算書	適 不適		
		木摺耐力壁	・種類 ()				
		面材耐力壁	・種類 () 厚さ () () 厚さ ()				
			・くぎ打ち (種類、間隔 mm)				
		基準法で定め る存在壁量	・X軸方向 (1階 cm、 2階 cm) ・Y軸方向 (1階 cm、 2階 cm)				
		基準法で定め る必要壁量	・X軸方向 (1階 cm、 2階 cm) ・Y軸方向 (1階 cm、 2階 cm)				
	準耐力壁 等	各部寸法	・階高 1階 () 2階 () ・天井高 1階 () 2階 () ・横架材間距離 1階 () 2階 () ・開口高さ 掃出窓 () mm) 腰高窓 / 大 () mm) 腰高窓 / 中 () mm) 小窓 () mm) その他 () mm)	仕上表 伏図 壁量計 算書 構造計 算書	適 不適		
			木摺準耐力壁 ・腰壁等 ()				
			面材準耐力壁 ・腰壁等 () 厚さ () () 厚さ () くぎ打ち (種類、間隔 mm)				
			性能表示で 示す存在壁 量			・X軸方向 (1階 cm、 2階 cm) ・Y軸方向 (1階 cm、 2階 cm)	
		耐震等級の 必要壁量	・X軸方向 (1階 cm、 2階 cm) ・Y軸方向 (1階 cm、 2階 cm)				
		耐風等級の 必要壁量	・X軸方向 (1階 cm、 2階 cm) ・Y軸方向 (1階 cm、 2階 cm)				
床組等		火打ち構面	・火打ちの種類、寸法 () ・火打ちの隔長 () ・火打ちと取合う梁背 () mm) ・火打ち構面の位置 ()			仕上表 伏図 壁量計 算書 構造計 算書	適 不適
		2階床面	・面材の種類 () ・根太(間隔、工法) ・くぎ打ち(種類、間隔 mm)				
	小屋床面	・面材の種類 () ・根太(間隔、工法) ・くぎ打ち(種類、間隔 mm)					
屋根面	屋根勾配	・勾配(寸)	仕上表 伏図 壁量計 算書 構造計 算書	適 不適			
	屋根面	・面材の種類() ・たる木(間隔、工法) ・くぎ打ち(種類、間隔 mm)			適 不適		

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
		項目	設計内容	記載図書	
2 耐震性 耐震等級 (構造躯体の 倒壊等防止)	接合部	金物の品質	・ 品質 ()	仕上表 伏図 壁量計 算書 構造計 算書	適 不適
		筋かい端部の接合部	・ 金物 ()		
		柱脚・柱頭の 材接合部	・ 金物・ () 仕口等 () () () ()		
		下屋等の横 架材接合部	・ 金物・ () 仕口等 ()		
		胴差し廻し、 柱の接合部	・ 金物・ () 仕口等 ()		
横架材	横架材の 断面寸法 (最小～最 大)	・ 床大梁 (mm × mm、間隔) ・ 床小梁 (mm × mm、間隔) ・ 小屋梁 (mm × mm、間隔) ・ 胴差し (mm × mm、間隔) ・ 根太 (mm × mm、間隔) ・ 垂木 (mm × mm、間隔)	仕上表 伏図 部材 リスト 構造計 算書	適 不適	
構造躯体	免震建築物	免震建築物 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に 規定されるもの ・ 同告示第2の該当する号 一 (四号建築物) 二 (告示第6に規定する構造計算による建築物) 三 (時刻歴応答解析を行い大臣認定取得) ・ 免震層・免震材料の維持管理に関する計画 (有り 無) ・ 敷地の管理に関する計画 (有り 無)	伏図 部材 リスト 構造計 算書	適 不適	
限界耐力 計算	安全限界変形 (木造)	該当なし	地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する 割合が1/40 以下であることを確認 各階の変形をそれぞれ当該階の安全限界変形の75%以下 であることを確認 等級2 又は等級3であることを確認、かつ各階の 安全限界変形の高さに対する割合1/30 以下	構造計 算書	適 不適
	安全限界変形 (木造以外)	該当なし	地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する 割合が1/100 以下であることを確認 等級2 又は等級3であることを確認、かつ各階の 安全限界変形の高さに対する割合1/75 以下		
型式・確 認書・証 明書番号		・ 住宅型式性能認定書の認定番号 () ・ 住宅型式性能確認書・証明書の文書番号 ()	認定書 確認書 証明書	適 不適	

共通事項

2 耐震性 耐震等級 (構造躯体の 倒壊等防止)	基礎 (寸法・ 配筋等)	根入れ深さ	・ 深さ (mm)	仕上表 伏図 部材 リスト 構造計 算書	適 不適
		基礎の各部 寸法	・ 立上り部分の高さ (mm) ・ 立上り部分の厚さ (mm) ・ 底盤の寸法 (厚さ mm、幅 mm)		
		基礎の配筋	・ 主筋 (̢ mm) ・ 標準部の補強筋 (̢ mm) ・ 開口直下の補強筋 (̢ mm)		

3 可変性			(一戸建て住宅のため該当なし)		
4 維持管理・ 更新の容易性	専用配管	コンクリート 内埋込み配管	・ 排水管 (無 有) ・ 給水管 (無 有) ・ 給湯管 (無 有)	仕上表 平面図	適 不適
	地中埋設管	地中埋設管 のコンクリート 打設	・ 排水管 (無 有) ・ 給水管 (無 有) ・ 給湯管 (無 有) 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められ れている地域	仕上表 平面図	適 不適
	専用排水管 の清掃措置	排水管の 清掃措置	・ 便所 [排水ますに隣接 掃除口 (露出又は開口有 便器の取り外し)] ・ その他の水まわり [トラップ 掃除口 (露出又は開口有)]	配置図 平面図	適 不適
	排水管の 性状等 (継ぎ手 及びヘッダ ーを含む)	排水管等の 内面 設置状態	平滑である (仕様等 :) その他 () たわみ抜け等が生じないように設置 措置 () その他 ()	仕様書	適 不適
	配管 点検口	工安接合部 等の点検措置	・ 排水管と設備機器の接合部 [露出 開口有 その他)] ・ 給水管と設備機器の接合部 [露出 開口有 その他)] ・ 給湯管と設備機器の接合部 [露出 開口有 その他)] ・ 給水管のバルブ及びヘッダー [露出 開口有 その他)] ・ 給湯管のバルブ及びヘッダー [露出 開口有 その他)]	平面図	適 不適
5 高齢者等配慮 対策等級 (共用部分)			(一戸建て住宅のため該当なし)		

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
		項目	設計内容	記載図書	
6 イ 自立型 等による基準 ()地域	熱損失係数	熱損失係数	・ 熱損失係数の値 (Q 値) 特定条件の利用 ($W/m^2 \cdot K$) [使用した計算方法] 通常のQ値計算 小規模住宅の計算 冬期日射利用住宅の計算	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適
	夏期日射取得係数 又は 夏期日射侵入率 又は 建具の種類 類または 軒、庇等	夏期日射取得係数 夏期日射侵入率	・ 夏期日射取得係数の値 (μ 値) 特定条件の利用 () ・ 熱貫流率及び夏期日射侵入率の基準による場合 夏期日射侵入率 方位 日射侵入率 () () () () () () () () 住戸面積の4%以下の開口部に緩和措置を適用	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適
	建具の種類 又は 付属部材 、軒、庇等		・ 建具等の基準による場合 建具の種類または付属部材、庇、軒等の設置 方位 建具・ドア枠の材質・形状 庇・軒・ ガラスの種類・構成等 付属部材等 () () () () () () () () () () () () 住戸面積の4%以下の開口部に緩和措置を適用		
	結露防止 対策	防湿層の設置	・ 繊維系断熱材の使用 (有 無) ・ 断熱材の種類 () ・ 防湿層の設置 (有 無) [防湿層を設置しない場合、以下のいずれかに該当] コンクリート躯体又は土塗壁の外側に断熱層がある 断熱材下側が床下に露出又は湿気の排出を妨げない構成 透湿抵抗値の基準に適合している 透湿抵抗比 屋根・天井 () 上記以外の部位 ()	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適
	通気層の設置	・ 通気層の設置 (有 無) ・ 防風層の設置 (繊維系断熱材を使用した場合) (有 無) [通気層を設置しない場合、以下のいずれかに該当] 鉄筋コンクリート造等である 防湿層の透湿抵抗が $0.082m^2sPa/ng$ 以上 断熱層の外側がALC、防湿層の透湿抵抗が $0.019m^2sPa/ng$ 以上 地域である 透湿抵抗値の基準に適合している 透湿抵抗比 屋根・天井 () 上記以外の部位 ()			
	熱橋対策	[鉄筋コンクリート造等の場合のみ記入] ・ 地域区分 (地域の場合) a 地域 b 地域 ・ 断熱補強 部位 範囲 熱抵抗値 () (mm) $n^2 \cdot K/W$ () (mm) $n^2 \cdot K/W$ () (mm) $n^2 \cdot K/W$ ・ 断熱材の種類 ()			
	断熱材の施工	[鉄筋コンクリート造等 (内断熱工法) の場合のみ記入] 躯体面に断熱材を全面密着			

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
		項目	設計内容	記載図書	
6 口 省エネルギー対策 熱貫流率 等による基準 ()地域	躯体の断熱性能等	各部の熱貫流率若しくは断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ	屋根又は () 天井 ()	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適
			壁 (真壁 大壁) ()		
			床：外気に接する部分 () その他の部分 () その他の部分とみなす部位及び面積 ()		
			土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()		
			断熱抵抗値の緩和規定を適用		
	開口部の断熱性能等	熱貫流率及び夏期日射侵入率の基準	開口部の熱貫流率 部位 熱貫流率 () () (W / m ² · K) () () (W / m ² · K) () () (W / m ² · K) () () (W / m ² · K) 住戸面積の2%以下の開口部に緩和措置を適用	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適
			夏期日射侵入率 方位 日射侵入率 () () () () () () () () () () () () 住戸面積の4%以下に緩和措置を適用		
			建具等の基準 建具・ドア枠の材質・形状、ガラスの種類・構成等 建具形態 建具・ドア枠の材質・形状、ガラスの種類・構成 () () () () () () () () 住戸面積の2%以下の開口部に緩和措置を適用		
			建具・ドア枠の材質・形状、ガラスの種類・構成等、庇・軒・付属部材等の設置 建具・ドア枠の材質・形状 庇・軒・ 方位 ガラスの種類・構成等 付属部材等 () () () () () () () () () () () () 住戸面積の4%以下に緩和措置を適用		
			夏期日射取得係数 ・夏期日射取得係数の基準による場合 夏期日射取得係数の値(μ値) ()		
結露防止対策	防湿層の設置	・繊維系断熱材の使用 (有 無) ・断熱材の種類 () ・防湿層の設置 (有 無) [防湿層を設置しない場合、以下のいずれかに該当] コンクリート躯体又は土塗壁の外側に断熱層がある断熱材下側が床下に露出又は湿気を妨げない構成透湿抵抗値の基準に適合している 透湿抵抗比 屋根・天井 () 上記以外の部位 ()	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適	

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
		項目	設計内容	記載図書	
6 口 省エネルギー対策 熱貫流率 等による基準 ()地域	結露防止 対策	通気層 の設置	<ul style="list-style-type: none"> 通気層の設置 (有 無) 防風層の設置 (繊維系断熱材を使用した場合) (有 無) [通気層を設置しない場合、以下のいずれかに該当] 鉄筋コンクリート造等である 防湿層の透湿抵抗が0.082m ² sPa/ng以上 断熱層の外側がALC、防湿層の透湿抵抗が 0.019m ² sPa/ng以上 地域である 透湿抵抗値の基準に適合している 透湿抵抗比 屋根・天井 () 上記以外の部位 ()	計算書 仕上表 平面図 矩計図	適 不適
		熱橋部 対策	[鉄筋コンクリート造等の場合のみ記入] <ul style="list-style-type: none"> 地域区分 (地域の場合) a 地域 b 地域 断熱補強 部位 範囲 熱抵抗値 () (mm) n²・K/W () (mm) n²・K/W () (mm) n²・K/W 断熱材の種類 () 		
		断熱材 の施工	[鉄筋コンクリート造等 (内断熱工法) の場合のみ記入] 躯体面に断熱材を全面密着		

7 . 住宅の規模	住宅の面積	住宅の面積	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の専用面積 () m² 40 m²以上ある階 () m² うち階段部分の面積 () m² 	求積図	適 不適
8 . 居住環境の維持 及び向上への配慮			地区計画等、景観計画、建築協定、景観協定、条例、 その他地方公共団体が自主的に定める要綱等のうち、 所管行政庁が選定・公表したものに適合 住宅の建築制限がある都市計画施設等の区域として、 所管行政庁が選定・公表したものの区域外		適 不適
9 . 維持保全の方法			<ul style="list-style-type: none"> 期間 () 年以上 その他の基準への適合 	申請書 維持保全 計画書	適 不適
10 . 資金計画			建築に要する費用の設定 維持保全に要する費用の設定	申請書	適 不適